

第5節 高校生が取り組んだ人権・部落問題学習

1 クラス全員で団結していけるように、小さいことから変えていかなあかん

社会科公民的分野「日本国憲法と基本的人権」の学習で、憲法26条についてその思いや願い、立場を訴えたM子は、結果として東邦レーヨンという会社で働きながら、定時制高校で学ぶようになる。

M子は、その東邦レーヨンで働きながら、定時制高校で頑張っていた時、やめていくクラスメートを必死に励まし、豊かな人間関係を築いていこうとしていた。しかし、一人やめ、二人やめ、クラスメートの数は減っていく。

そんな中で「中学校のように、一人一人がつながり語り合っていく授業を定時制高校でもやりたい」と相談に何度も板野中学校にやってきた。その相談にきた時、板野中学校での道徳学習や人権・部落問題学習（全体学習）の授業記録が掲載されている実践記録『峠を越えて』を持って帰るが、M子はその授業の一つ一つに思いを馳せ、今自分にできることを問いかけていくのである。

そのM子の思いが綴られた手紙を掲載する。

【先生、この間は適切なアドバイスをどうもありがとうございました。それと『峠を越えて』どうもありがとうございました。読み返していると、私の中に忘れかけていた、熱いものがよみがえってきます。

『峠を越えて』を読んで思ったのは、私はまだ私の思いをクラスの仲間に十分伝えられていなかつたということです。それなのに、あたかも、自分の思いを十分伝えたように、ひとりよがりしていた自分が見えるので、すごく恥ずかしいのですが…、自分を振り返ってみると、まだまだ反省ばかりです。そのときそのときに、最高に輝ける自分でありたいと改めて思いました。私たちには生き生きと生きる権利があるから、精一杯生きていこうとするのが大切なんですね。

中学3年生の時、先生が言っていた『卑屈』ということについて、久しぶりに考えていると、私の中に卑屈さが少なくなっていることに気がつきます。その理由は東邦レーヨンに実際入って、始めはすごく兄ちゃんや義姉ちゃんのせいにしつたんやけど、仕事になれて、友だちができて、先輩とも仲良くなつて、もう人のせいでは東邦レーヨンに入社したって思わなくなっていました。特に友だちができたことについては、ここに来てよかったです。

私がこんなふうに思っているみたいに、クラスのみんなにも、「ここに来てよかったです」って、卒業するまでに思ってもらえたたらと思います。そのためにやっぱりクラス全員で団結していけるように、小さいことから変えていかなあかんと思います。】

私は、M子の姿に、どのような状況にあっても輝きを失わない人間の強さを感じる。常に豊かな人間関係をつくり続けていく人間の輝き、それが道徳学習や人権・部落問題学習（全体学習）によって培われてきた人間の輝き、人間関係のすばらしさである。

2 兄を思いやれなかつた自分に、教師が務まるはずがない

M子は、自らが解放されていくよろこびを勤労学徒の弁論大会で発表し、優秀賞に選ばれ、その内容が徳島新聞の『青春フォーカス』というコーナーに紹介されたことがある。その中で、兄や義姉の思いをわからず、全日制高校に行けなかつたことを恨んだ自分を振り返り、遠回りしても様々な環境で揺れる、子どもたちの痛みがわかる教師になりたいという願いを語っている。この新聞記事は以下のような内容である。

【県内の定時制・通信制高校で学ぶ生徒が、学校や職場での体験談を発表するこの大会。Mさんは優秀賞を受賞した。】

3歳で両親が離婚。母親に引き取られ、小学校6年の時、その母親も亡くなり、2人の兄と3人だけの生活が始まったMさん。中学時代は年が9つ離れた上の兄に学費を出してもらっていたが、「兄に頼ってばかりではいられない」と、働きながら勉強できる定時制高校に入学。勉強と仕事の両立の大変さを乗り越えて、教師を目指して頑張っている。

発表会では、こうした体験を「明日への架け橋」と題して話した。

入学当時は、慣れない紡績工場での立ちっぱなしの仕事と勉強の両方で、寮に帰った時にはグッタリの状態が続いた。全日制の学校に通う中学時代の友だちと話していく中、授業の進む速さが違い、どんどん取り残されていくような寂しさを味わった。

「何で定時制にや来てしもうたんだろう」と何度も悔やんだという。

友だちの一言に、つらい思いをしてきたのは自分だけじゃないと気づかされたのはそんな頃のこと。「私も両親おらんのよ」とサラッと言ってのける友だちの笑顔を見て、それまでの自分が恥ずかしくなったという。

「上の兄も私たちの世話で、やりたいこともろくにできなかつたはずなんですね。そんな兄を思いやれなかつた自分に、教師が務まるはずがないと思いました。他の人より遠回りするかもしれないけれど、家庭に事情のある子どもの支えになってあげられるような先生になりたい。】

2002年に廃校になることが決まった城東高校北島分校。学校がなくなるのは寂しいけど、4年間の高校生活が、これから的人生の中で大きな支えになるはずです。】

3 「今」「ここ」を語り合う人権・部落問題学習

定時制高校で頑張っているM子につながるように、他の高校に進学した生徒も、それぞれの高校でそれぞれの頑張りを積み上げていくが、その生徒たちが高校2年になった1998年度、徳島県高等学校同和教育研究大会が板野高校を会場として開催されるようになる。

その大会の一週間ほど前であったが、板野高校で学んでいる生徒たちが相談にやってくる。研究大会の公開授業で「教科書無償闘争」について学習するのだが、教科書無償の闘いについて学ぶだけでなく、「教科書無償闘争」から学んだことを通して、「今」「ここ」にある部落差別の現実を克服していく授業として、板野中学校で取り組んできた全体学習のように、みんなで語り合っていく授業をしたいという相談であった。

その生徒たちの訴えの中には、中学時代に全体学習を通して本音を語り合った道徳学習や人権・部落問題学習を高校においても実現したいという願いがある。そんな願いのある生徒たちの姿は、本当に生き生きとして輝いている。自らの高校生活に主体性をもって取り組んでいる生徒の輝きは、同和教育の実践が創造してきた教育の成果であると実感する。

私はその日、生徒たちにその数ヶ月前に届いていたM子からの手紙と『社会科における同和教育』に掲載されている「日本国憲法と基本的人権」の授業記録を読んでもらった。板野高校進学を夢見ていたM子のことが鮮やかによみがえってきたのだろう。N子はM子からの手紙を読み、授業記録のM子の発言を確認した瞬間、その目から大粒の涙をこぼした。そして、その涙は他の生徒たちの中にも熱いものとなって広がっていく。

その生徒たちの涙がキラキラと輝いて美しい。人間の真実を求め、仲間を信頼し、仲間を尊敬し、誠実に自分の生き方を求める姿には強烈な輝きがある。中学時代の授業記録を通して、生徒たちは「今」「ここ」という視点と、部落問題を学ぶ意味を噛みしめていた。

研究大会当日、私は公開授業開始の10分前、9時20分にその教室に入った。すでに授業は9時より公開授業に向けて思いを語るという形で始まっている。私はそっと教卓の上に集音マイクと小型のカセットデッキを置かせてもらう。その私の行動を意識するように、生徒たちの話し合いはより熱いものになり、授業開始の9時30分を迎えるが、授業は生徒の強烈な発言によって深められ、そのまま継続されていく。

まさしく生徒一人一人の確かな発言が授業をつくり、強烈な感動と驚きの中で参観の先生方を巻き込んだ形で授業は進む。しんみりとした発言、参観者を巻き込んだ感動の笑顔、クラス全体が生き生きと呼吸しているという感じだった。あっという間に終了の10時20分がくる。最後に学級担任が授業をまとめたが、その言葉が生徒一人一人の中に豊かに響いていく。学級担任のおだやかな表情と、生徒たちのさわやかな笑顔で感動の授業が終わる。参観したすべての教師が、その授業に立ち会えたよろこびを噛みしめ、高校生の限りない可能性と輝きを実感した授業である。

その授業は、一人一人の発言が「今」「ここ」にある部落差別を解消していく同和教育のあり方や、高校生が直面している部落差別の現実を赤裸々に訴えていく授業となっている。同和教育や社会啓発のあり方を考えていく資料として、その授業記録を引用させていただくことにする。



1996年度板野中学校3年全体学習　於・板野中学校体育館

【授業記録】徳島県高等学校同和教育研究大会公開授業

—ホームルーム活動「教科書無償のたたかい」を通して—

1998年11月13日(金)第1校時

徳島県立板野高等学校 2年3組

1 私の親は言うても絶対分かってくれんっていう感じなんよ

RM(男)まだまだ部落差別が残っているから、NNさんの言うように同和対策事業を全部なくすのではなくて、昨日ST君も言よったけど、必要なくなってきたものを削っていくことも必要だと思うんよ。僕はいつまでも同じことをだらだらと繰り返していくのは進歩がないと思うんよ。そのまでいたら何も変わらんし、進歩のないこと帶びただしいと思うんよ。だからST君が言ったように僕も思うんやけど、ちょっとでも良い方向に変えていけたらいいと思うんよ。実際、NNさんが言うように、同和対策事業を全部消したら、勝ち取ってきたもの全部を失ってしまうようになると思うんよ。僕は部落解放運動によって、勝ち取ったっていう意義も残していってほしいと思う。

GM(男)僕は学習会をなくしたら、だれが同和地区の子か、みんな知らんようになるだろ。でも、そのことは差別がなくなったとしても、寝た子を起こすなという感じで、部落問題から逃げとことになるんと思うよ。

NN(女)大人は現実に部落差別をしているだろ。子どもはその大人の差別意識を吸収するんよ。大人は差別するけど、私たち子どもが、大人にそのことを言って、大人を変えることができると思う?大人はすごく差別意識の観念がこり固まってるんでよ。私の親は言うても絶対分かってくれんっていう感じなんよ。

SK(女)私もお母さんとかに言ったら、多分言い返されて、お母さんとかの差別意識をなくせんとは思うけど、私はたまたま板野町に生まれてこういう勉強をしてきたけん、親の言いよることが間違つるってわかったんよ。親の気持ちは変えれんかもしれんけど、自分の子どもとか身近な人に間違ったことを教えないことはできると思う。

2 子どもは差別せんて言よったけど、同年代の子どもに差別されると子どものいる

KH(男)身近なことからって僕も思うんよ。確かに親とかも変えれんかもしれんけど、変えれんと思ったら変えれん。変えようと努力することが大切なんと違うかな。変えれんかもしれんけど、親との話し合いもしないんだつたら、何も前に進まんだろ。変えようとする努力が、今大事なんちがうかな。今こういう話し合いをやっても無駄っていう子もおるかもしれんけど、今自分自身を変えようとする努力は必要なんと違うかな。

ST(男)子どもは差別せんて言よったけど、実際は同学年の子で同年代の子どもに差別されるとの子とかおるんよ。その子の名前を出しても、みんな知らんと思うけん出さんけど、子どもの頃、徳島市内に住んどったとき差別されたとか。地区外の友だちの家に遊びに行ったとき居留守を使われたとか。電話で突然名前も名のらん人にあんたの家は「えった」だろうって言われた子だっておるんよ。子どもは差別せんって、そんな第三者のような言い方する子から言われたくないっていうか。そんなん言うたらまた部落外の子を除外しとるって言われるかもしれんけど、そんなん実際に何も経験ないのに、私の観点からって言われたって腹立ってくる。

NN(女)ごめんなさい。

3 身近な人の意識とか変えれないのに国とかと絶対鬭えない

ST(男)分かってくれたらいいけど、やっぱり学習会も確かにおかしいっていうところもあるんよ。ワイも実際学習会に参加していたけど、学習会に参加している仲間は確かに勉強もんまりしょらんし、部落問題についての話し合いの時とかでも、参加するのは十人来るか来んかだったんよ。そんなんで、行政からお金を出してもらってやるのもどうかなって思うんやけど、学習会をなくしたら、GM君も言よったけど逃げっていうか、差別をなくしていく力がなくなつて、「臭いものには蓋をして」っていう感じになってくると思うんよ。みんなの意見とか聞きよっても、親を絶対変えれんとか言よるけど、そんなんだつたら差別はなくならんけ

ん、何もやらんって言よるのといっしょだろ。差別だってなくならんもんやけん、なくしていこうとせなあかんだろ。それにKH君も言いよったけど、身近な人の意識とか変えれんのに国とかと絶対闘えんって思うよ。ワイは親とかと闘かって、口論してワイの親が口論して行き詰まつたら「出ていけ」ってワイに言うよ。実際出ていったことだってあるよ。この前みたいに…。でも、親のすねかじりよるんやけん、今のワイやでは親に逆らえんけど、何もせんのだったら、何も変わっていかんし、何かどっかで自分に甘えとるんでないかなって思う。

GM(男)ST君が言よったように、部落の子でないとわからん気持ちって言うのがあると思うんよ。差別を実際受けとるけん、泣きもって親とかにも言うたり、そういう話をしよるんよ。部落外の子には分からんような気持ちもあるんだと思うんよ。ST君の気持ちはよう分かるんよ。腹立つっていうのもちょっと分かるんよ。

4 差別をしよる人間は、自分の差別意識に気づかんけん、差別って起こる

NO(女)差別をしよる人間は、自分の差別意識に気づかんけん、差別って起こると思うんよ。だから差別はなくなったって思うと思うんよ。自分が差別をしよると気づかんけん、それが差別って分かってないけん、差別はなくなつたって思い込んでいると思うんよ。実際、うちのお父さんとかでもおかしいところがあるんよ。前に役場から部落問題についてのアンケートみたいなんがきたんよ。そのとき、お父さんがそれを見た時、「そんなんをやりまわるけん、部落差別みたいなんを思い出してしまうんじや」って言うたんよ。その言い方って差別そのものだろ。現実に部落差別があるのにそれに気づけてないだろ。そんな意識が差別を残しると思うんよ。そこでお父さんは、結局お母さんが「世帯主が書かんといかん」と言って逃げて、お父さんはお父さんで「こんなんどうせアンケートやけん、名前書かんけん出さんでもわからんわ」って言うて出さんかったんよ。そういう意識が差別を残していると思うんよ。私はそれは違うよって言うたけど、また私が何か言よるっていう感じで、私が言よることなんか無視されるようなことがあったんよ。それが差別なんよ。でも自分の親が差別しよるって嫌だろ。自分はやっぱり親好きやし、親にはそんな人間でおってほしくないんよ。だから、私は親といろんな話していきたいと思うんよ。人間の意識とか心とか変えるん難しいけど、変えていく努力はできると思うんよ。そこで親も段々と変わっていくと思うんよ。そういうふうなことやっていくんが、私はすごい大事だと思うんよ。この学習は続けていかなあかんと思うんよ。ずっとやつていかんかったらな、知らんうちに自分でどんどん汚い人間にまた戻っていくんよ。だからこの学習がこういう会（徳島県高等学校同和教育研究大会）が終わったけんっていうて終わってしまうんではなくて、これをきっかけにずっとやつていけるようなクラスのつながりをみんなで大切にしたいと私は思うんよ。

KH(男)今言ってくれたけど、この学習は本当に大事だと思うんよ。みんなどう思う。

T1：学習会のありかた以外でも班で思ったことを言ってくれてもいいと思うけどね。

5 中学校に入っていっぱい話し合って、そんな話し合いの中で気づいていった

RM(男)僕は小学校の頃まで差別する立場の人間だったんよ。1回言ふたかもしれんけど、中学校に入って今までずっとやってきて今も思うことだけど、自分を見つめるってなかなかできんと思う。こういうふうにみんなの前で発表しようとも、自分を見つめるっていうのは自分自身でしかできんって思う。他人がどう言つても結局、自分を分かっとるんは自分だけだと思う。ほんま僕は自分を見つめていくってすごく大事なことだと思うんよ。僕は小学校の時、差別している立場だった自分っていうのを、全然わからんかったんよ。親からあそここの子は悪いって言われたとき、親の言われるままにそうかと思って、そこが部落って知らんかったし、そのことが部落差別って全然気づかんかったんよ。それでそここの子は悪いんじゃって思い込んでしまうんよ。それで、ワイが「この子が悪い」って言ふるんを先生に聞かれたんよ。そのとき、先生が怒ったんよ。「おまえらほんなん言うてもいいんか」って言われて、「おまえらそんなことを上の人から聞いた時、注意していく立場の人間にならなあかん！」って言われたんやけど、そんなこと言われたって、部落差別のことを何も勉強してなかったら、何で先生に怒られるのか何もわからんのよ。先生は何で必死になって

怒っているのかわからんし、そのときは頭の中だけで判断して、先生が怒っているから言わんようにしようって思つただけなんよ。それは何も気づいてないんよ。こういう学習をやっていく中で、中学校に入つていっぱい話し合つてきただろ。そんな話し合いの中で気づいていたし、友だちの中にも部落出身の友だちがいるけど、みんなすごくいいヤツなんよ。優しくしてくれるんよ。僕は差別してきた自分がすごくはずかしかつたし、すごくその友だちに申し訳なかつたって思うんよ。部落差別の間違いに気づけてよかつたと思うんよ。N0さんも言よつたと思うけど、僕はこういう学習を今までやつてきたけれど、これからもまたやっていく中で、僕はいろいろ悩むことがあるけど、一生懸命に考えていくことはすごく大切だと思う。

6 今、みんなが思つてることを本音で言い合つていかないとクラスはよくならない

KH(男)部落問題学習をするのは、みんなそれそれが自分のために学習しているって思うんよ。部落解放イコール人間解放と思うんよ。自分自身の心の中にある差別意識を解放していくための学習だと思うんよ。自分自身の心の中にある差別意識をなくしていくことで自分自身がキラキラと輝いたり、好きになれたりすると思うんよ。だから、この学習はそれそれが自分自身のためにする学習だと思うんよ。人のためにする学習だつたり、部落解放だけのためにする学習だったら続かんと思うんよ。ほんの何年かは続いたとしても、それは一生涯の取り組みにはなつていかんと思うんよ。これは今の自分自身を見つめる学習であり、自分自身を輝かせる学習であつて、この本音を言い合うことでクラスでつながりをつくっていく学習と思うんよ。ワイはそう思うんやけど、みんなはどう思う。この問題に取り組むことで、今のこのクラスのつながりをワイはつくつていきたいんよ。みんなで支え合つていくクラス…。それは勉強面でもそうやし、生活面でもそうなんよ。授業中寝とるヤツがおつたら、「お前、ちょっとここは眠らんと勉強、みんなで頑張らんか」っていうように支え合つていく関係をこのクラスやこの学校でつくつていきたいんよ。今、みんなが思つてることを本音で言い合つていかんとそういうクラスにはなつていかんと思うんよ。だから、みんなも自分のためつていう感じで、今本当に思つてることを出し合つていこう。

7 クラスの誰かが休んどったとしても、その子が何で休んどるとか考えていかない雰囲気がある

HI(女)私もこの学習って必要だと思うんよ。中学校の時はいつもいつもこういう話し合いをして、自分の考えはどんどん深まっていって、先生とかクラスの友だちとかと、すごくつながれたような気がするんよ。お互ひがお互いのことを認め合つて、話し合いもどんどん楽しくなつて、自分の思いを思いっきり発表して取り組んできたんよ。高校になってどんどんこういう話し合つて少なくなつてきただろ。部落問題やみんなとの人間関係のことを考へんようになつたり、考えることが少なくなつて、何か今の自分がすごく嫌いだつたんよ。このクラスは話が変わるけどまとまつてないっていうか、すごく楽しそうやけど、みんな自分のことだけで精一杯っていう気がするんよ。当たり前のことができない気がするんよ。クラスの誰かが休んどつたとしても、こいつがまた休んどんかとか、こいつはする休みとか、そんなことばっかり言うて、その子が何で休んどるとか考えていかんし、いっしょに勉強するとか、その子のこととかを考へてみてほしいんよ。そのことがしっかりと考えていけんのだったら、こういう話し合いをしてもつながつてないような気がする。

SN(男)昨日、あれから残つて話し合いをしようつただろ。ST君とかKH君とかNMさんとかと話した中で、このクラスの42人がつながるのは無理って話になつたんよ。みんなそれぞれの性格上のこともあるだろ。腹立つヤツとか、むかつくヤツとかもそれそれにおるだろ。それでワイが思うのは、昨日枠内の時間が終わつて、放課後残れる子は残つて先生が言うだろ。そう言うたけど、誰も残らんかっただろ。それが現実なんや。このクラスはつながれてないし、この学習をみんなやっぱりしんだいって思つとるだろ。現実にしんだいつて思つてている子は、しんだいままやし、意見を言わん子に対して、意見を言うてくれつて強制的に言わすようなことは絶対したらあかんし、それはその人の考え方なんよ。意見を言わん子は、意見を言わんことを認めていかなんだら、それの性格を踏みつけることにもなつてしまふんよ。どんどん意見が言える子と、なかなか意見が言えん子がおるけど、つながるんだつたら、別に文化祭の時でも、体育祭の時でも、つなが

れるんではないかって思うし、みんな自分のためにやっているんだし、みんなにつながらんかって強制するものではないと思うんよ。僕自身、この学習は自分のためにやっていると思っているから、わざわざ人に注意までして、人をえていこうって全然思わんしな。班の中ではちょっとつながれるって思うけど、つながろうつながろうって言ったって、42人みんなでつながるのは無理と思う。

KH(男) クラスのつながりって何なんだろ。42人がいっしょに行動するわけではないだろ。それはつながりではないだろ。42人がみんなで「飯食いに行くぞ」って言うて、みんなで行ったら本当におかしいだろ。みんなが同じ顔して、同じ行動したら、気持ち悪いだろ。そういうのがつながりではないと思うんよ。つながりって言うのがどういうものかそのことを今みんなで考えるように思う。

8 一人一人の思いを語っていく学習を続けていかなあかんと思う

NO(女) そのためにこの学習を続けていかなあかんのよ。人間のつながりっていうのは、お互いがお互いを支え合っていく中で、変に意識しないでも、段々とできあがっていくものだと思うんよ。そのために一人一人の思いを語っていく学習を続けていかなあかんと思う。たった1回話し合いでつながり合えるんだったらそれは驚異だろ。ずっと続けていくことでいろんなものが見えてくると思うんよ。いろんな人の気持ちが見えてくると思うんよ。そんな中でつながれていくと思うんよ。この学習は続けていくことに意義があると思う。

KH(男) いきなり42人がつながるのは難しいと思うんよ。だから、今、班にしとるように、この班の話し合いから、つながりにしていかなあかんのと違うかな。いきなり42人って言うのは難しいだろ。それぞれの班とか、気の合う者同士とかでどんどん話し合っていって、つながりをつくっていくことが大事なんと違うかな。どう思うで。

MY(女) このクラスには板野中学校の子が多いけん、大麻中学校からきた私は、1年生の時、こういう学習をしていても、最初はあんまり考えんかったけど、2年生になってからNOさんが言ったように、この学習を続けていたら、友だちの中でもこういう問題を考えるようになって、仲の良い友だちとかと、こういう問題について話すようになったけん、見た目にはつながりがないかもしれないけど、みんな一人一人が考えると思うよ。私はみんなとこの学習をしてきてよかったと思う。

KH(男) 今言うてくれたけど、みんなはどう思う。

9 お母さんとかは「部落の人は血が濃いけん、結婚したら知恵遅れの子が産まれる」とか言う

NN(女) さっきST君の話を聞いて私は、部落差別はいけないことって学校で一通り教えられるとし、確かに大人は差別するけど、私たちは結婚したかったら誰とでも結婚してもいいって思うけど、お母さんとかは「部落の人は血が濃いけん、結婚したら知恵遅れの子が産まれる」とか言うんよ。私はそれは違うって、そんなこと違うって思うけど、みんなだってそんなこと間違えどるってわかっとるだろ。だけど、いざ自分が結婚する時になって、そんなことを親や親戚からいっぱい言われて、それでも結婚したいって、結婚に踏み切る子って、実はこんなに勉強していても、結婚に踏み切れる子って、私は少ないとと思うんよ。だってそれで、もし、間違ったことだけど、そんな噂のせいで、自分の子どもが知恵遅れに生まれたらどうしようとか思ってしまうんよ。だからこんな勉強したって、通り一遍のことでの絶対限界があると思うんよ。そんな人間の意識を変えていくのに限界があるので、行政が地区の人に無料で運転免許を取りさせたりすることで、結局親の差別意識とかをあおって、子どもは結局学校で適当に教えられるだけで、話し合いは続けていっても、結局結婚のことになったらみんな考えてしまうだろ。私だって絶対地区の人と結婚したいって思っても、そのときになってみないとわからんし、それが私の差別意識と思うけど、だいたいみんな考えどるっていうても、実際結婚のことになったら親と対立したくないけん、わざわざ差別に自分から進んでたたかっていこうっていう部落外の子は少ないって思うんよ。その道は避けようと思ったら避けるだろ。話し合っていくんだったら、もっと深いところまでとことん話し合っていかんと、絶対みんなの中でねたみ差別とかがあって、つながるとかつながらんとかの問題ではなくなっていくと思うんよ。結局そういう実際にあるねたみ差別とかを

知って、それを乗り越えていかん限り、クラスの中でいいつながりができたとか、できんかったとかいうきれいな事で終わってしまうんよ。もっと現実の難しいところを見ていかんと、結婚とかの問題を解決していくのは難しいと思う。

10 実際にあるねたみ差別とかを知って、それを乗り越えていかん限り、きれいな事で終わってしまう

NO(女) 結婚の時に親と対立したくないけん、この問題を勉強しよるんと違う。やっぱりみんなに祝福されて結婚したいだろ。だからこの勉強が必要だと思うんよ。だって、結婚しようって本当に決めたら簡単にあきらめるものではないし、やっぱり祝福されたいから親を説得しようって思うだろ。そのときに自分が、親の差別意識とか自分の中にある差別意識と、どれだけ闘っていけるかなんよ。それは自分がこれまで生きてきた道とかで決まっていくと思うんよ。だからこの学習が必要って私は思うんよ。そうと違うだろか。

11 結婚の時に親と対立したくないけん、この問題を勉強しよるんと違う

KH(男) 親を説得するっていうか、親と闘うための今のこの学習っていうんやろ。

NO(女) そう。

KH(男) 確かにワイもそう思うけど、どんなんだろう。今までワイらはあかん方にあかん方にはばっかり取りすぎてきたんと違うんかな。いい方にいい方に思いすぎるのもあかんけど、あかん方にあかん方にはばっかり思つとったら、本当にあかんようになるって思うんよ。気持ちでもスポーツでもそうなんよ。陸上の試合でも、あかんあかんと思ったら本当にあかんようになるって思うんよ。自分はできるっていう自信っていうものがないと、前進していかんし、ほんまによくはなっていかんと思う。NNさんがこんな話し合いしても変わらんて言ったけど、ほんまにこんな話し合いしても意味がないんだろうか。

NN(女) そんなこと言よらん。

KH(男) あれ…。

NN(女) 結婚のことになったら踏みとどまる子だっておるだろ。

NO(女) NNさんはどうするん。

NN(女) 私はまだわからんのよ。私は…。

KH(男) だけど先のことよりも今が大事なんと違うか。先のことを語ってもあかんだろ。ワイやって将来の夢のことばっかり語っても、それはそれだけで終わると思うんよ。そうでなしに今の自分自身が輝いて、今の自分自身と向き合っていくことが大事なんと違うかな。

NO(女) 今っていうけど、今、何をするん？

KH(男) 今できることをするっていうか、今楽しくなかつたら、今輝いてなかつたら、この人生っていうのはもつたいないと思うんよ。人間はいつ死ぬかわからんだろ。今日帰りに交通事故に遭って死ぬかもわからん。何が起こるかわからん。 それが人生だろ。本当の話。だから今、自分自身が輝いていることが求められると思うんよ。先のことばかり語りすぎてもあかんだろ。 今の自分自身の生活面とか、自分にできることを考えていかなあかんのと違うかな。

12 現実に差別による人に向かって言うていかんかったら差別解消にはつながらない

NN(女) その今を考えるとき、部落に対する差別意識を持った親を説得していかなあかんようになるだろ。親を頑張って説得しようとするだろ。毎日そういうことばっかり考えていかなあかんようになるだろ。 お父さんはあまり部落のことを言わんけど、お母さんはやっぱり差別的なことをいうんよ。 ほんまにものすごく差別するのに、今このクラスの子が差別をなくしていくために、今、頑張っていこうって言うても、現実に差別による人に向かって言うていかんかったら差別解消にはつながらんだろ。 私の場合、お母さんを変えようとしたらすごい努力がいるんよ。 実際お母さんに向き合ったとき、お母さんを説得せんでも、私は差別をしないからいいっていうようになってしまふんよ。 お母さんは差別しようけど、私は差別しないし、私は私の

代から絶対差別を子どもに教えるとこって思うんよ。お母さんは昔の世代の考え方だから、考え方を変える
のは無理って思ってしまうんよ。私自身がそんな状態だし、本当に差別に立ち向かっていくは難しいこと
私は思う。

13 今の現実から逃げて、将来のことを考えても、根本的な解決にならない

KH(男)それはやっぱり逃げよると違うかな。自分の親は説得できんけど、自分の下からは部落差別のことを
考えさせんようにしていこうっていうのは、結局今の問題から逃げよるん違うかな。今の現実から逃げて、
将来のことや自分の子どものことを考えても、それは一時的な言い訳で、根本的には解決になってないんと
違うかな。

NN(女)なってない。

KH(男)だろう。だから今のこの話し合いがあるん違うかな。

NN(女)根本的な解決になってないのはわかるけど、お母さんにこの話をするのは苦しいんよ。そうやって親に
毎日毎日説得するのが苦しいんよ。

ET(女)説得するのは苦しいことやし、努力が必要かもしだれんけど、そうやって、それ以上に苦しい世界を乗り
越えて、義務教育における教科書やって今、無償になっていったりとんだろ。そんな成功したものってい
っぱいあるし、いろんなことを学びながら頑張っていいたら、道は開けていくし人間の心ってどんどん豊か
になっていけると思うんよ。

KH(男)今の発言どう思うで？

14 先のことを考えて、ああしたいなーって思ったら今の行動も伴ってくる

ST(男)今、輝いたらいいって言よったけど、今のことばかり考えたらあかんと思うんよ。悪いこととして警察
に捕まつて、お前将来はどうするんだって言われたら、「おれは今さえよければいいのさ」っていうことになるだろう。（会場全体から笑い）NNさんが言よったけど、全部を10割としたら、今のことば4割で将来のことば6割でいいってワイは思うんよ。それが今のが6になつたらこういうことはやめて程々にしていくし、やっぱり将来のことがあつての今があると思うんよ。KH君が言うように今日の帰りに交通事故で死ぬかもしだれんけど、やっぱり将来のことを考えて、今を生きないかんと思うんよ。話を聞いていたら、今のことばばかり考えているのではなさそうやけど、やっぱりみんな将来のこと考えて今勉強しよるわけだろ。まあそうでない子もおるかもしだれんけど、親がやれって言うけん勉強しよる子もおるかもしだれんけど…。今のことば大事だけど、やっぱり自分が80歳まで生きるとしたら、どの年代で一番頑張りたいかとワイは考えるわけよ。ワイは、25歳から40歳までを一番頑張りたいって思っているんよ。だから、ちょうどそのときに必要な勉強をして、そういうのに必要な知識を得るために大学にも行こうと思いつるんよ。今に力を入れたい子はものすごく今を頑張つたらいいし、その今を頑張るためにには展望っていうのがいるって思うんよ。先のことばばかり考えるんは悪いことではないって思うんよ。今のことば考えて、ああしたいなーって思つたら今の行動も伴つてくると思うんよ。

KH(男)目標とかあって自分の行きたい大学とか夢とかあるだろ。それに向かって頑張っている姿っていうのが
輝いとる姿と思うんよ。ST君は25歳から40歳まで輝きたいっていうたけど、ワイとしては、ワイは一生輝
き続けたいんよ。（会場全体から笑い）ワイは贅沢なんかえ。今はみんな将来を言うより、今の自分自身を
輝かせることが、将来の自分を輝かせることにつながっていくと思うんよ。みんなはどうだらうか。

15 肩身の狭い思いする子とかその話の内容が分からん子がおつたりしたら言うたらいかんと思う

SN(男)この間KH君とも話よつただろ。未来の先のことも現実の今のことも大事やけど、今のことば言うには
昔の過去のことを言わないかんて言よつただろ。過去のことを踏まえた上で自分があるって思うんよ。今日
はほんとに過去である板野中学校の時の積み重ねがあつて、今があるって思うけど、それを今こんな班とか

で言うたら、他の大麻中学校とか上板中学校とか他の中学校の子とか人数的に全然少ないだろ。1つの班に一人とか二人とか、そんなんで昔のこととか言われたって、絶対わからんだろう。積み重ねになつとるならなつとるで、それはもし板野中学校の子とかが、板野中学校の3年のときに、中学1年や2年のこと振り返るのはいいけど、他の中学校の子とかおるのに、板野中学校出身の子が板野中学校のことを振り返っても、他の中学校から来た子に、肩身の狭い思いさすようになっていくと思うよ。だから、ワイは今までの努力を積み重ねてきたことを言うのもいいんやけど、それで肩身の狭い思いする子とかその話の内容が分からん子がおつたりしたら言うたらいかんと思うよ。

16 今自分に自慢できるようなことがないし、今誇れることがないけん昔のことばっかり振り返ると思う

GM(男)昔のことばっかり振り返るって話しよるけど、そんな昔のことばっかり言うってことは、今何もしないから昔のことばっかり振り返るようになると思う。今自分に自慢できるようなことがないし、今誇れることがないけん昔のことばっかり振り返ると思うよ。今を生きよるわけやけん、今をどうにかしていかなんだら、昔ばっかり振り返ってもしかたがないだろ。

KH(男)ほんまに昔はよかつたって、過去を振り返るだけの人生はむなしいよな。

17 みんなで今を問い合わせ続けることがすごく大事

GM(男)ワイは過去は過去で大切にしていかあかんと思うよ。いきなり今の自分自身ができたわけではないだろ。過去のことは過去のことで、それをふまえた上で今、行動していったらいいと思うよ。確かに今のこのクラスのつながりっていうたら今の現実の課題だろ。「峠」っていう詩に、「大きな喪失に耐えてのみ新しい世界が開ける」っていう言葉があるんよ。確かに今という世界を切り拓くためには、昔のことばっかり考え過ぎたり、言い過ぎよつたら道は開かれんと思うよ。今のこのクラスの状況をつくっているのは今なんだから、みんなで今を問い合わせ続けることはすごく大事だと思う。

NO(女)今、私たちが何をするんかなんよ。それにつくるよ。私は今何をするん…。

KH(男)何をするんだろう、ワイら。何をどうしたらいんやろうか。ワイが思うことを言うていい。今、何ができるっていうことについて、今、自分にできることをどんなときも自分を信じて一生懸命頑張ることが大切なんと違うだろうか。それはそれぞれにいろいろあって、そうすることが輝くことにつながると違うかな。勉強面でもそうやし、他のこととか生活面でも、自分を信じてどんな時も一生懸命っていうのが大事なんと違うだろうか。これがワイの課題なんよ。みんなどう思う。

NO(女)そうなんかな。

KH(男)どんな時も自分を信じて、一生懸命頑張っていろんなことをやっていくっていうことからまとまりとかもできてくるん違うかな。

NM(女)今だから私たちは何でもできるんとちがうんかな。こんな仲間がいるから、人を傷つけることの愚かさを知ることができるし、つながることの大切さも今こうやって学ぶことができるし、みんなの意見も自分の中に入ってくると思うよ。でも、今頑張ってなかつたら、後から頑張ろうって思っても、もうそのときはないだろ。それと同じように、あの時頑張ったけん、今は頑張らんでいいっていうことは、今を頑張れてない言い訳でしかないと思うよ。ほんまに大切なのはやっぱり今だと思う。

KH(男)今の意見についてどう思う。

18 僕が言いたいのは、今現在の「自分を見て！」っていうこと

RM(男)僕が言いたいのは、今現在の「自分を見て！」っていうことなんよ。自分に対してほんとに嘘つけんのよ。でも自分の中で逃げとる部分っていうのがすごくあると思うよ。そんな逃げとる自分がいるっていうことも全部ふまえて、自分を見てほしいんよ。僕は単純やけん、めちゃめちゃ自分のことを考えてしまうんよ。この間KF君にも「お前、考えすぎや」って言われたんやけど、ほんま考えてしうんよ。でも自分を見つ

めて、この問題のことを真剣に考えることができる自分を自分なりにいいなあって思うんよ。そんな自分が好きなんよ。

KH(男)ワイもいいと思う。

19 この学習がほとんどなかった1年間っていうのは、汚い人間に自分がなった

NO(女)すごいなあ。そんだけ考えたらすごいなあと思う。私はいつも何にも考えてないんよ。でもやっぱり自分を見つめていかないかんとは思う。ほんまにこの学習がほとんどなかった1年間っていうのは、汚い人間に自分がなったったんよ。自分で気づかんうちに自分はいけるって信じとったけど、ほんまに全然あかん人間になつとったんよ。だから毎日、自分を見つめていけたらもっと優しい生き方ができるって思う。

KH(男)自分を見つめていくってことは大事って思う。今の自分自身はどんなかって、人間として輝けとかって、自分で自分自身のことをほんまに好きって、そのことを自分に問い合わせながら自分を見つめていくことってすごく大事なことだと思う。みんなどうで。

SS(男)今、ワイはこうやって勉強してきても、今、2年3組だから、こうやって思っていることや意見を思いつきり言っていけるんよ。でも社会に出ていったらこんなに言えんと思うんよ。それに社会に出ていたらもっと反発されると思うんよ。そんな現実を変えていくために、今こうやって勉強しているわけやけど、ワイはKH君みたいに堂々と意見が言えん人間だから、ここで仲間づくりしていって、この仲間づくりをしていく力を今つけて、これからもいろんな人と仲間になっていける人間になりたいんよ。どんな立場に置かれても、自分が行き詰った時に助けてくれるような仲間がおったら言いやすいだろ。だからKH君が言うようにこのクラスで仲間づくりをしていくことは、すごい自分には大切なことなんよ。そんな仲間をつくることや仲間とのつながりの中で自分の考えが言えるようになっていったらと思うんよ。

KH(男)ワイはこの仲間とつながりたい。だからこのクラスでそのための話し合いを続けていきたいって思うよ。つながってみんながキラキラ輝くっていうか、みんなが自分の目標とか、夢とかに向かって頑張っていける支え合いをしていきたいって思う。みんなで勉強面でも、生活面でも、その目標に向かって支え合って自分のクラスをつくっていきたい。

20 ホームルームの時間があるけん、もっとその時間を大切にしていくべきなんと違うか

HT(女)つながるには話し合いとかが必要だろ。でも実際この学校って、今の1週間とか、この高同研（徳島県高等学校同和教育研究大会）とか、人権週間とかが終わったら、せっかく週1回ホームルームの時間があるのに、ホームルームの時間を話し合いの時間に使ってないだろ。私はこのクラスでホームルームの運営委員をしよるんやけど、最初の時にホームルームの時間割いうものを決めたんよ。この日のホームルームの時間はこんなふうにするって…。決めたんやけど実際にそれを実行できたものは何もなかったような気がする。今まで何をしてきたんかって考えたら記憶にないもん。そういうホームルームの時間があるけん、もっとその時間を大切にしていくべきなんと違うかな。ホームルームの時間がすごいもったいないだろ。そういう時間をもっと話し合いに活用していったらいいと思う。

KH(男)これから予定をしっかりとやっていこう。

T2：時間がだいぶたってるんやけど…。教科書無償について学んだんやけん何か班で学習したことを何かないかな。びっくりしたんよ。今日は司会に任せとんやけど…。教科書無償について学んだんやけんそれもふまえて話ができたらいいなって思います。

21 今の自分自身のことを話していくなければ、自分たちのものにはならない

KH(男)今みんながいろんな意見を出していくことが大事なんと違う。こんな授業であんかな。教科書無償の闘いを通して、昔はそういう先人たちがいたことを学習するのはすごい大切なことだけど、教科書無償を始めとする解放運動から学んだことを通して、みんな一人一人の生活や生き方を見つめ、今の自分を語って

いくことを大切にしていかなんだら、部落差別をなくしていく一人一人の行動にはつながっていくんと思う。
決まり切ったことや分かり切ったことについて、話し合いをせなあかんっていう学習だったら、それは作り
もんの話し合いになってしまふと思うんよ。教科書無償のことだけを話さなあかんのだったら、それは学校
側が押しつけていく部落問題の学習になって、人間としてお互いがお互いを解放していくほんまの学習には
なっていかんと思う。今の自分自身のことを話していかんだら、それはほんまの自分たちのものにはなら
んのと違うかな。

NO(女)自分との関わりを語っていくことが、この学習の根底に流れとるもんなんよ。

KH(男)「今」「ここ」にある問題、身近なところにある問題という学習の土台が大事になると思うんよ。

NO(女)何にでもそれが根底に流れとるもんなんよ。私はそう思うんよ。

T3 : どうで。意見持っている人、言ってくださいよ。まだ心に残っている人いるでしょう。

KH(男)どうですか。

22 中学の時の成績なんかは160人おったら140番や150番だった

ST(男)あのな、教科書無償のこともしっかりと理解しておかなかんと思うけど、やっぱり部落問題学習とか言うことなんは、ワイの個人的な意見やけど、部落問題学習は自分のためにしよる学習なんよ。差別をなくすっていうことも、自分を変えるっていうこともしよるし、ワイがこんなに変われたのもこの学習のおかげなんよ。ワイは中学校の頃、悪だったんよ。悪というか。いろんな意見を言うことは言いよったけど、全然行動が伴ってなかつたんよ。発表するときだけ良い子で、それが終わつたら後は悪というか。口先だけという感じだったんよ。でもな、こういう部落問題学習していくことで、やっぱり差別とかなくすのは自分のためってわかったし、差別なくすために知識っていうか、いろんなことを知つてなかつたらいいかんと思うようになって、自分から勉強するようになったんよ。たぶんワイこの部落問題学習に出会つてなつたら、板野高校にはおらんかったと思うんよ。なんでかって言うたら、ワイ、板野中学校以外の子は知らんかもしけんけど、中学の時の成績なんかは160人おったら140番や150番だったし、高校進学の話をしたら、もう先生がしかめつ面つてして、高校に行けるかどうかの瀬戸際だったんよ。だけど、自分が言つてることを実現させるためには、やっぱり勉強せなあかんって思つて勉強し始めたし、自分のために勉強しよるって思うんよ。教科書無償のことは、今日のテーマやけんせなあかんと思うけど、まあこういう学習は結局自分のためやけん、自分のためにこの問題を語っていくっていうことが根底にあるということが一番大事って思うんよ。

KH(男)そうじやわな。どうでST君が今言つてくれたことについて…。

MT(女)私はなんか普段あんまり考えよらんけど、こういう時間をみんなでつくれて、すごいよかったです。普段あんまし意見を言うの好きではないけど、この時間はすごく考えることができたから、すごくよかったですなあって思うし、自分が学習会のことをするにすごく大切にしてきたことをすごく実感できたり、ほんまに熱い思いがよみがえってきたんよ。でもやっぱり、みんなつながるとか、みんなを大切にするとか言よるけど、みんなを信じられんところがあるんよ。やっぱり誰かが何日も学校を休んでも、みんなほつたらかしにしたりしよるし、私も自分のことで精一杯やし、私も含めて言よることとしよるところがあるって思う。そのことを発表しようかなって迷いよってすごい苦しかったけど、今言えてすごいよかったです。

23 心の中にあるものを吐き出したときの解放感が、すごい大きな自信につながっていく

KH(男)心の中にあるもんを言わんということは、なんか苦しいっていう感じがすると違うかな。ワイもそうだったよ。心の中にあるものを吐き出したときの解放感が、すごい大きな自信につながっていくように思う。

NO(女)私もそうだと思うんよ。友だちが休んどって当たり前っていう状況になつとんよ。何もできんかったっていうか、気づいていけんかったっていうか。そういうほつたらかしにしつたっていうか、みんな自分のことで精一杯やけど、私も自分のことしか考えてなかつたと思うんよ。なんていうんだろ。わかつとるのに何の行動もしてないっていうか、それを自分で、自分は自分のことで精一杯だったっていう言い訳する。

そんな自分を自分でつくるって思うよ。自分のどっかで自分は悪くないよって責任逃れしよる部分があると思うよ。このクラスにおって、この学校にきて本当によかったなあって思えるようなクラスにしたいだろ。ほんまに自分が板野高校へ来てよかった。このクラスでほんまによかったなって思えるようなクラスにしたいんよ。

RK(女)私もN0さんと同じようにこのクラスに来てよかったなって思えるクラスにしたいんよ。途中ぐらいに言ったけど、嫌いな人やつておるだろうし、一人一人性格が違うし、それは仕方がないって思うけど、このクラス全員がつながることはできんって決めつけとったらクラスはよくなっているかんし前進していかんと思うよ。できんって思つたらほんとにできんようになりそうなんよ。やっぱりみんなが良いクラスにしたいと思つとるし、私はつながっていけると思って、この勉強をしよるんよ。

KH(男)つながるために言うていこう。今の自分を出していこう。

24 板野中学校を卒業したときに、部落問題学習も卒業したっていう気持ちがどっかにあった

KF(男)僕は板野中学校を卒業したときに、部落問題学習も卒業したっていう気持ちがどっかにあったんよ。高校は大学に行くために勉強しているって思つたけど、そのためにもこの学習はしていかなかんと思うようになつたんよ。何よりみんなが必死でつながっていこうとしよるのに、僕だけがよそ向いとつらいかんと思って今しよるけど、やっぱりみんなが心を一つにつながっていかないかんって思う。

MH(女)みんながつながるって言うのは、必ずしもみんなが同じ意見で一致するっていうことではないって思うんよ。いろんな意見を言って、みんながいろんな意見を返して、みんなで一人一人がいろんな考えを持ってるんだっていうことをみんなが理解していったら、そのことで一人一人の中につながりができるように思うんよ。

25 支え合いとかつながりっていうのは、違いを認め合うところからできていく

KH(男)42人おって42人が同じ考え方もつたら気持ち悪いし、それは逆に悪いことだと思うんよ。いろんな意見があつて、人それぞれの個性があるもんな。個性が交じりあってほんとに何でも言い合えるようになると違うかな。支え合いとかつながりっていうのは、違いを認め合うところからできていくように思うんよ。

T4：もっと話し合いをしたいところなんやけどね。私の方でまとめさせてもらおうか。9時から始まってね、ほんとは9時30分からなんで9時から始まって1時間20分。まあ最初10分か15分、KH君の方が言よつたけど、ウォームアップしてみんなが話せるような雰囲気をつくつていこうやないか、先生方もようけおいでるけん、日頃はけっこう言ってくれるクラスで先生もそういう意味ではごつつい勉強になつたりするんやけども、ようけ言つてくれた。先生もちょっと指導案を書いた都合もあって、教科書無償に触れたいなっていう気持ちが半分ありました。ところがこんだけKH君とかみんながいつたうに、根底にあるのは人権問題であり、部落問題であるっていう思いをみんなが率直に話してくれたというのはすごく大きいことやと思う。去年からもそういう話し合いは十分出た。特にこのクラスはほとんどの生徒がいっしょで板野中学校出身の生徒がたくさんいるし、そういう生徒たちがリードしてくれたし、みんながみんな42人が42人頑張ってきてくれると思うよな。そういう意味で今KH君が言よつたように、みんなも言よつたように、こういう話し合いの場っていうのは勉強も大事やけど、こういう話し合いの場はどんどんといきたいと思う。これが部落問題であれ人権問題であれ、いろんなみんなの悩みとかを話し合つていきたいと思う。ホームルームのあり方どうのこうのっていう意見が出ました。先生の反省もあって、いろんな学校行事でつぶれたりとか、ホームルームの時間である金曜日の6時間目が結構つぶれました。そういう意味で持ち方をもうちょっと、今Tさんだったかな、ホームルーム委員さんのやりがいがなかったっていう意見、すごくごつんってきたんやけど、やっぱり自分の責任やって思います。ホームルーム委員さん6人おりますね。そういう人たちがもっと自由に動いて意見の活性化ができるようなホームルームにしていけたらって思います。また人権週間の方でも班別学習ができると思います。また一生懸命頑張りましょう。